

小繋事件100周年記念碑完成 建立式典開催



10月15日、小繋事件100周年記念碑が完成し除幕式が行われました。岩手小つなぎの会世話人代表で同盟県本部前副会長の宮脇善雄さんから思いを寄せて戴きました。

山は誰のもの

生きる権利を守れ！

岩手小つなぎの会世話人代表 宮脇善雄

一戸町小繋集落で、一戸町の全面的支援を受けて記念碑の除幕式、祝賀会が開催されました。岩手小つなぎの会は、記念碑建立事業に先立って約20年に渡って全国に散在していた小繋事件関係の文書、資料を収集し、デジタル化して岩手大学図書館、一戸町図書館、御所野遺跡図書館などに保管してもらいました。資料の収集と整理の先頭にたれたのは、マルクス経済学の研究の第一人者、岩手大学名誉教授の早坂啓造先生でした。小繋事件100周年記念碑はその象徴となるものです。記念碑の建立場所は、いわて銀河鉄道小繋駅から徒歩で北へ約30分、奥州街道の長安寺の斜向かいです。県北方面にお出かけの際には、是非と



発行所
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒113-0034東京都文京区
湯島2-4-2全労連会館
国賠同盟岩手県本部
〒020-0013盛岡市愛宕町
17-4 牛山靖夫方
T/F 019-623-8648

▼小繋事件100周年記念碑建立 宮脇善雄
▼伊藤千代子の墓前祭・碑前祭・ロケ地探訪ツアーに参加して 多田久夫
▼安倍元首相の国葬問題の検証を！ ▼統一協会は解散しかない！その実態 女性部長 伊藤慶子
▼呼子と口笛（3）激論 鈴木満 ▼女性部学習会報告

一寸一言

大コメ騒動がみせたもの

▼映画「大コメ騒動」を観た。104年前の史実「米騒動」にもとづいて「健保もない！年金もない！明日食べるお米もない！超・格差社会を生きた」おかたちのキャッチコピーに思わず納得した。▼きれいでないのがよかった。米屋のおかみの分断は成功するかに見えたが、主人公の開き直らざるを得なかった押し出しの呼びかけに皆が連帯する。「人権」などという言葉など知らなかったおかたたちの食わせなくてはならないというまっとうな要求。きよんさと呼ばれるおばと新聞が読める主人公のリーダーシップ。井戸端に集うおかたたちのコミュニティ。▼不十分ながらも健保も年金も明日食べるコメもある私たちは、おかたたちから何を学ぶ？瀬長亀次郎は言った。「弱いネズミが狂暴なネコに勝つには団結するしかない」大コメ騒動は弱い者たちが分断をどう乗り越えて団結するかを見せてくれた。▼まるごと繋がり合うコミュニティをどう築くか、事実をもっともつと複雑・混乱であったに違いない。米騒動について、もっと知りたいと思った。

(D)

年内に署名と会費を



全県の共産党地方議員へ署名に協力を要請しました。早速城内仲悦久慈市議から50筆が届きました。会員からも3枚15筆の署名、家族の署名が送られています。会費の完納と合わせ、年内に署名を前進させましょう。

も見学して、記念碑に刻印された意図をくみ取って戴きたいと思います。記念碑建立の協賛募金は、北は北海道から南は沖縄まで各地から寄せられました。

記念祝賀会では、小繫事件裁判の勝利に尽力され、岩波新書「小繫事件」を執筆された戒能通孝先生のご長男から「熱い長文のメッセージ」が紹介されました。

岩手大学客員教授の八木光則さんから、「入会権についての今日的意義」について特別発言がありました。「生き抜くんば民衆とともに」の布施辰治の研究者、岩手日報社の黒田大介さん、小説「こつなぎ物語」の著者、野里征彦さん、早坂啓造先生のご家族、一戸前町長の稲葉暉さんなどが思いを込めて発言し交流しました。

祝賀会終了後、地元小繫の会の立花健雄さんの案内で、竹沢弁護士のご家族を先頭に、世界コンベンツ学会会長マツキーン博士（ノーベル経済学賞・受賞者）が小繫来訪の際植樹された「八重桜の木」や、裁判で勝ち取り現在町有地として入会権を行使できる小繫山を見学し、交流を深め散会しました。

2022・9・24～25

伊藤千代子墓前祭・碑前祭と

映画ロケ地探訪ツアーに参加して

盛岡市 多田久夫

9月24日（土）伊藤千代子の没後93年の命日に、長野県諏訪市で墓参碑前のつどいが行われました。続く24日と25日（日）に行われたロケ地探訪のツアーに参加してきました。心配した台風の影響もなく晴れた天気でした。

墓所は、諏訪湖の南、中央自動車道の山側に上ったところにありました。

墓参会では、30人余の参加者を代表して3人が追悼の献花を行いました。真新しい墓碑には「伊藤家の墓」とあり、左脇に「伊藤千代子」と刻まれた墓標もありました。

顕彰碑は、墓所の左上に少し上がったところであり、碑前のつどいが行われました。映画の完成記念も兼ねてのつどいであり映画監督の桂壮三郎さんは「コロナ禍の昨年10月から撮影を開始し、俳優さんや女子高校生のエキストラの皆さん、当時をよく研究して小道具を集めたスタッフ。彼らの力でできた『奇跡の映画』だと思えます」語りました。

映画の原作である伝記『時代の証言者伊藤千代子』の著者・藤田廣登さんが司会し、長

「わが青春つきとも～伊藤千代子の生涯～」

オリジナルサウンドトラック盤CD完成

劇中歌の「赤旗の歌」が入っています。

欲しい方は田中館まで

(090-9743-6123)

2500円ですが割引の

予定です。



野県上映運動実行委員長の木嶋日出夫弁護士（元衆議院議員）が挨拶しました。

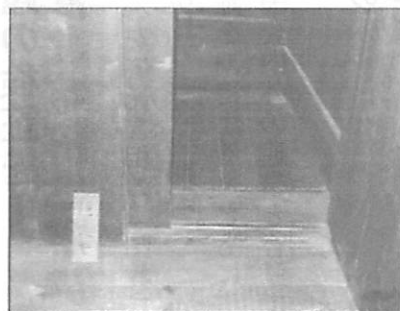
読み上げられたつどいのアピールには「すでに400地域5万人を超える人々が鑑賞する自主上映運動を展開するまでに前進してきました。映画は伊藤千代子の生きざまに共感と感動をもって迎えられ、多くの人々が社会進歩の方向に歩みだすエネルギーを創り出しています。また、千代子の母校―諏訪二葉高校同窓生、東京女子大有志、仙台尚綱女学院有志らでも取り組まれ、アンコール上映にまで発展しはじめています。この映画の生命力が花開きつつあります。…こうした成果を生かし当面800地域の上映運動の発展のために民主共同の力をさらに発揮されるよう呼びかけます」とありました。

生家跡は、墓地を下った県道わきの伊藤善知さん宅の裏手にありました。

ロケ地訪問では、諏訪市内の高島城、霧ヶ峰ロケ地、松本市の歴史の里、旧制松本高校記念館でした。この地の闘いと抵抗を知る嘉助騒動―貞享義民記念館、自由民権家・松沢求策記念碑、普通選挙運動発祥の地記念碑なども見てまわりました。



工女宝来屋に宿泊する女工たち
～100人が宿泊することも～



3畳もないような隠し部屋
病気や隠す必要のある女工を隠した

私は、伊藤千代子の映画を見て、非合法下の日本共産党が普通選挙を前に「赤旗」を発行し国民の前にその姿を現すという大役を担っていたことに驚きました。命の危険をも予想したと思う社会変革の行動にどのような自分の思想を成長させたのか知りたいと思います「時代の証言者・伊藤千代子」（藤田廣登著）を読み、生誕の地を歩いて見たいと思いました。

私が注目したのは、松本市の「歴史の里」にある工女宿宝来屋（移築復元）でした。30畳くらいある広間の真中の囲炉裏には大きな鍋がかけてあり、板の間に布団を敷き同じ布団に頭と足を交互に寝かされた女工（写真）を見、隠部屋などの説明を聞いて、同じ世代の貧しく困難な境遇にある人々を何とかしたいとの気持ちが「信州白樺教育」を学んだ千代子の原点にあるのではないかと思いました。

また、この松本城下の1686年に「加助騒動」といわれる年貢引き下げを求める万人の百姓一揆があり、明治10年代には松沢求策らによる全国に先駆け影響を与えた自由民権運動があり、木下尚江らの先進的な運動があったことを学びました。

伊藤千代子が「私は、諏訪の子、恩返しをしたい」「ある小さなもくろみ」があると友人への手紙に残しているという。英語を勉強し世界をもっと学びたいと思った伊藤千代子は、社会科学を学び、歴史の必然を開く先進的気概を大きく育てたのではないか。この地に足を運んで、その大きさを学びました。

連載予定の藤田廣登氏の論文「治安維持法成立から一〇〇年」第2回は、紙面の都合で12月号に掲載します。

映画

「伊藤千代子の生涯」

INみやこ 11月3日

3回上映129人鑑賞！

安倍元首相の国葬問題の検証を！ 安倍の悪政を忘れず許さない

11月1日 衆院各派代表者による安倍元首相の「国葬」を検証する協議会が開催されました。12月の国会会期末までに「結論をうる」そうです。徹底した検証を期待するとともに、安倍政治の礼賛と継続を許さないよう国会内外の連帯と行動で岸田政権に迫っていきましょう。

安倍元首相の悪政の主なもの

改正教育基本法 (06年)

国民投票法 (07年)

特定秘密保護法 (13年)

集団的自衛権の行使容認 閣議決定 (14年)

安保法制 (15年)

共謀罪法 (17年)

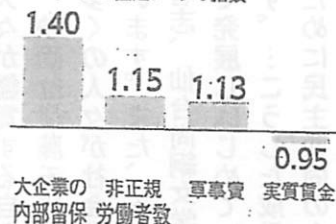


森友・加計問題
桜を観る会

嘘の答弁118回

大企業に富が集中、軍事費増大 労働者には賃下げ・貧困

安倍政権発足前の2012年を「1」とした場合の
2020年および直近データの指数



国公労連資料より

また、上のグラフに明らかのように富める者に優しく、弱い者に冷たい、戦争に向かう政治だったこと、国会も憲法も民主主義もないがしろにしたことを決して忘れず闘いましょう。声を上げないと認めたことになってしまします。

統一協会は解散しかない。その実態

女性部長 伊藤慶子

今夏、大学の岩手在住者の同窓会が3年ぶりに開催された。その席上「あの時、勝共連合の誘いにのっていたら今がないよな」と、学生時代に運動をかじった男性の多くから話が出た。学生時代「ノンポリ」だった私は「?!」。学生時代と言えど1965年からなので57年も前だ。その頃から活動していたとは：大変なショックを受け、その後、統一協会となった組織が「どんな活動をしてきたのか」「なぜ今も続いているのか」調べてみた。それは政治を利用した共産思想を撲滅するとする「反共」と、信者をだまして「資金収奪」をし、韓国に送金するのがすべてという腹立たしい事実だった。

【統一協会 宗教に名を借りた金集めの歴史】

※今回は「協会」を使用

1954年、文鮮明がソウルで立ち上げ、58年日本に入ってきて「統一協会」ができた。反社会的カルト団体だが、286の教会と60万の信者（いろんな数字がある…）がいる大きな集団になっている。

64年に宗教法人に認証。旧約聖書・新約聖書を經典に「原理講論」を教理解説書にした。しかし、実態は「祝福（集団結婚）」「万物復帰」を唱え、金集めに終始し「祝福献金」を奨励した。この世、人も財もすべて神のものにする。サタン（一般社会）の元にある宝を霊会でもがき苦しんでいる先祖を救うと信者を

身ぐるみ剥いでいき「多額の献金」や「印鑑やツボを高額で売る」ことを信者に強いた。ローンを組ませ、一冊3000万円の聖本を買わせることまでしている。女性信者に「財産状態を把握し、夫やその先祖を救うため、内緒で夫の財産を処分して献金することが救われる道」と洗脳して財産も処分し、1億円も寄付させられた。



【資金の流れ】

統一協会は日本からの収奪を財政基盤にしている。それは文一族の瀟洒な暮らしと韓国にお城のような拠点作りに使われている。韓国で事業も行い、経済団体として認識されている。その資金はアメリカの共和党にもわたり、トランプ氏が統一協会を最大限持ち上げ、そのビデオを見た安倍元首相が真似てビデオを作り、銃殺されるに至った。また、途上国に学校を作った。外務省から表彰され、世界に信者を増やす様子も報道されている。その資金は日本の信者を騙して収奪したものだ。

【統一協会の宗教2世の悲惨さ】

なぜそんなに深くまで洗脳され、長く続くのか理解に苦しむ。こんなに信者がいるのは日本だけだという。親が信者だと子供まで自動的に信者にさせられている。勇気をもって顔を出して告発した小川さん（仮名）は、合同結婚式の両親から生まれ「恋愛禁止の教義を教え込まれ『信仰を破ると地獄に落ちる』」と脅される生活だったという。両親は1千万円も献金し家は貧乏で長くいじめられた。アルバイト代200万円まで献金させられ、両親を信じたいと参加した韓国の修練会ではセクハラを受け、次第に精神が蝕まれ精神疾患で何度か入院した。漸く脱会し結婚して告発する気力を持った。しかし、会見中に両親を使つて教団から邪魔が入っている。信者家族も顔を出して告発

する人が出てきた。早急な2世や家族を救う手立てが必要だと思う。

安倍元首相の銃殺が統一協会がらみだとわかって以降、ながくこの問題を追及してきた弁護士やジャーナリスト、大学教授等がテレビや新聞で事の真相を次々に明らかにしている。民事裁判も刑事裁判も紹介された。政府は徹底して追及するとしているが「質問権行使」でうまくいくのか、何とも及び腰に見える。何とか統一協会の解散まで世論を高めたい。フランスはカルト教団に対する反セクト法を2001年に作った。「人の精神や身体を服従させる法人は基本的人権を侵しているため、信教の自由に関係なく取り締まれる」としている。日本でもぜひ検討してほしい。

【統一協会と自民党の歴史】

岸信介氏以来、自民党と統一協会の現在まで続く「ズブズブ」の関係が問題になっている。岸氏は首相退任後も「改憲」を標榜し、68年に統一協会に「国際勝共連合」ができること発起人になを連れ、反共謀略活動を展開する組織である統一協会の飛躍の手助けをした。その後、統一協会もしたたか度、一度落選した議員や当落線上の議員に巧妙に近づき票を提供、宣伝に使っている。

【安倍晋三氏が首相になって関係が深化

↓ 地方ではさらに深刻

80年代半ば統一協会が靈感商法で信者の財産の吸い上げがあらわになった。なぜ政治が統一協会とつながっているか問題になったが、安倍氏が頭角を現すと再び息を吹き返した。統一協会が集めた票の配分を安倍氏が行うまでになった。安倍派を中心に統一協会御用達の議員が増え、自民党議員の半分が何らか



のつながりを持つまでに至った。1997年に文鮮明が指示した名称変更申請も長らく文化庁が拒否してきたが、2015年安倍派の下村博文氏が文科相になった途端に受理したと言われ「家庭連合」への名称変更で、統一協会のイメージアップに貢献した。

自民党は議員に統一協会との関わりアンケートを実施したが、真実を書かない議員が相次いだ。議員任せではなく「党」としての調査が必要で、故安倍氏や議長細田氏も除外するべきではないと思う。批判に慌てた自民党は「関係を断つように」通達を出したが、統一地方選挙を控える地方は「どうして信者を見分けるか」「ボランティアで集票してくれるありがたい存在」と反発している。

個々の議員まで書くスペースがないが、丸抱えの議員や関係者を小出しにして辞任した関係もいる。詳しく知りたい方は鈴木エイト氏が20年統一協会を追求し、3000日に及ぶ調査で「自民党の統一教会汚染」を書いた。ぜひ読んでいただきたい。統一協会が巧妙に私設秘書を送り、後援会づくりをするまでがリアルにわかり、いかに自民党が汚染されていたかよくわかる本である。

【統一協会と自民党の政策のリンク】

統一協会は「反共」だけでなく、夫婦別姓・ジェンダー平等の否定、家庭教育条例への介入などリンクさせながら自民党の政策に反映させている。

岸田首相は「国民の（市民）の信を得た」と「改憲」や「古い原発再稼働と新設」を選挙後に出してきたが、統一教会と地方議員の関わりも含めて、偽りの票の積み重ねで「信」は得ていない。



「反社会的な行為を行う集団が利益を求めて近づくことを権力の側は許してはいけない。」

啄木の「呼子と口笛」を 読んでみませんか(3)

「激論」

盛岡市 鈴木 満



詩集「呼子と口笛」の中で「ココアのひと匙」の次にあるのが「激論」です。何について激論しているのが気になります。そこを気にしながら読んでいくと最後にどんでん返しがあります。舞台を見ているような詩です。

激論

われはかの夜の激論を忘れること能(あた)はず、
新しき社会に於(お)ける、権力、の処置に就(つ)きて、
はしなくも、同志の一人なる若き経済学者Nと
われとの間に惹(ひ)き起こされたる激論を、
かの五時間に亘(わた)れる激論を。

君の言ふ所は徹頭徹尾煽動家(せんどうか)の言なり。
かれは遂にかく言ひ放ちき。

その声はさながら咆(ほ)ゆるごとくなりき。

若(も)しその間に卓子(テエブル)のなかりせば、
かれの手は恐らくわが頭(かうべ)を撃(う)ちたるならむ。
われはその浅黒き、大いなる顔の

男らしき怒りに漲(みなぎ)れるを見たり。

五月の夜はすでに一時なりき。

或る一人の立ちて窓をあけたるとき、

Nとわれとの間なる蠟燭の火は幾度か揺れたり。

病みあがりの、しかして快く熱したるわが頬に、

雨をふくめる夜風の爽(さわや)かなりしかな。

さてわれは、また、かの夜の、

われらの会合に常にただ一人の婦人なる

Kのしなやかなる手の指環を忘るること能はず。

ほつれ毛をかき上ぐるとき、

また、蠟燭の心(しん)を截(き)るとき、

そは幾度かわが眼の前に光たり。

しかして、そは実にNの贈れる約婚のしるしなりき。

されど、かの夜のわれらの議論に於いては、

かの女(ぢよ)は初めよりわが味方なりき。



啄木は子供のころから議論好きでした。芸術論、人物論、時事問題、そして社会問題。どんなテーマでも自分の意見を言い、自分の意見を是とする者を味方とし、非とする者を敵として論破することを好みました。

その啄木が次第に社会主義、無政府主義に強い関心を寄せるようになって、ロシアの無政府主義者クロポトキンの「一革命家の思い出」を読み、革命運動に命懸けで加わるロシアの青年たちが絶えず議論を闘わせていることを知り、深く共感し、日本の青年にもそういう議論があつてほしいと願つて構想した詩がこの「激論」だと私は思っています。

この詩の「激論」のテーマは、「新しき社会に於(お)ける、権力、の処置」です。革命論です。「新しき社会」とは、労働者・人民主権の社会でしょう。その社会の「権力、の処置」とはどういうことでしょうか。具体的には、誰が権力を握るのか、何をする権力か、その権力の行き過ぎをチェックする仕組みをどうするかなどでしょう。同じ社会を求める同志であつても、意見の違いはあるでしょう。五時間も議論は続きました。

「若き経済学者N」にはモデルがあつて、それは啄木晩年の友人丸谷喜一であるとされています。啄木は丸谷と何度か長時間議論したことがあるのでモデルとみなされたようです。

Nは、君の言ふ所は徹頭徹尾煽動家(せんどうか)の言なり。と「咆ゆるごとき」に「言い放ち」ます。

「われ」と「N」の意見の違うところは「煽動家」のようです。何が問題か。私の解釈を言います。「煽動家」は多くの人々に立ち上がれと言う人でしょう。人々が革命の主体だと思つてからです。人々を操るためではありません。それに対して「N」は人々を操つてはならないと言いたいのでしょう。志の強固な賢い少数者が権力を行使するのが間違いないと言いたいのだと思います。問題は、人々をどう見るかです。

第二連に「ただ一人の婦人」が登場します。彼女はNから贈られた指輪をしています。Nの婚約者です。「されど、かの夜のわれらの議論に於いては、かの女(ぢよ)は初めよりわが味方なりき。」なのでした。それだけで「われ」は勝利者であるのでしたという詩です。どんな返しに舞台を見るような展開ですが、重要なテーマが潜んでいます。私には、女性が夫と意見が違ふときに、自分が正しいと思う意見を述べるといふ女性の自立、人間の尊厳がこの詩の本当のテーマであるように感じられてなりません。

《国賠女性部学習会》「治安維持法と現代～2022年春季号」

10月18日（火）8名参加

日本学術会議会員任命拒否から1年半

—いま、どうなっているのか—

巻頭論文 広瀬清吾著

2020年10月1日からの会員105名の内6人を菅首相（当時）が任命拒否してから丸2年が経ちました。その後、岸田首相も任命拒否解決へのイニシアチブをとろうとはしていない。任命拒否問題は、どうなっているのだろうか。当時はマスコミも学術会議も「学術会議とは何か。どんなことをしているのか。国民にとってどんな役割を果たしているのか」などなど活発な情報提供がされていた。いまは、日々新たな問題が山積み、情報も薄れてきていると感じる。

国は学術会議に問題がある、改革が必要だと理論を打ち立て、改革に向けた提言を発表。その趣旨は学術会議を民間の法人とし、政府のための政策提言を行うシンクタンクにするという内容であった。これに対して、学術会議は「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」（2021.4月）を総会で決定し、ナショナルアカデミーの5要件を提示した。内容は、①学術的に国を代表する地位、②そのための公的資格の付与、③国家財政による安定した財政基盤、④活動面での政府からの独立、⑤会員選考における自主性・独立性は現学術会議法で保障しているものでこの基本を堅持し、より良い役割発揮のために自主的に改革するという態度だ。（学習会では、学術会議が提言の内容を分りやすくしたQ&Aをプリントし、読み合わせをした）

政府は、これらの提言を受けて、2021.5月内閣府「総合科イノベーション会議」（CSTI）の有識者懇談会に政策討議を行わせ、取りまとめでは学術会議がCSTIと並ぶ「車の両輪」とした。政府

府の意図は学術会議を政府の科学技術政策推進のための役にたつ、CSTIの下請け科学組織にしたいということである。

驚いたのは学術会議の年間予算は10億円、科学技術・イノベーション基本計画は（2021年度から2025年度）総予算30兆円が見込まれていることである。

軍拡予算を現在の2倍化を進める岸田内閣のもとで軍事研究のために科学者を動員したいというのが本音ではないだろうか。

学術会議の役割は「科学的助言」であり、科学的助言は①学問の自由の下で生み出される科学的知見に基づくこと、②政治や社会の権力から独立に形成されること、③個別の諸科学を超えて、諸科学の協同の下に総合的、俯瞰的に行われること、④人類社会に貢献することを原理的特徴としている。

学術会議は原発問題、ジェンダー問題、医療、環境、気候危機、農業問題などなど多岐にわたる国民の生活に関わる提言や公開シンポジウムなど行っている。

政府は、今年8月に政府が「国の特別の機関」である現在の形態を維持する方針を固め、自民党が求めていた、国から切り離して独立した法人格とすることは見送った。

戦前、滝川事件や美濃部「天皇機関説」事件で学問統制と思想統制が進められていった。（2021春季号参照）今また、学術会議会員任命拒否を、憲法改悪につ



次回女性部学習会

11月15日（火）13：30～15：30

盛岡市中央公民館

き進む政権が学問統制に進む道を開くものにはならない。学術会議の取り組みを注視していきたいと思った。

佐久間敏子 記